

稲作緊急特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

今年は、昨年並みにカメムシ類が発生しており、斑点米の発生が懸念されますので、追加防除を行ないましょう。

また、コシヒカリの出穂後の気温が高く推移し、今後も高温が予想されています。コシヒカリは登熟期間の高温で白未熟粒の発生が多くなりやすいので適切な水管理により稲体の活力を維持し、産米の品質向上に努めましょう。

1 追加防除の実施

本年は春から斑点米カメムシ類が多発しており、2回目防除後の水田においても、クモヘリカメムシなどの水田への飛来が確認されています。

コシヒカリについても、中山間地域や昨年被害のあった地域では、追加防除を行ないましょう。



クモヘリカメムシ

【防除方法】 (下記のいずれかの方法で)

防除時期	防除日 (目安)	使用農薬	散布量/10a (希釈水量/10a)	使用基準 (収穫前日数)
追加防除	傾穂期防除の7日後	(粉 剤) トレボン粉剤 DL	4kg/10a	7日前まで
		(液 剤) トレボン乳剤	2,000倍、100㍓	14日前まで
		(液 剤) スタークル液剤 10	1,000倍、100㍓	7日前まで

- ・散布時期の間隔は7日間を目安とします。(10日以上間隔を空けない)
- ・収穫前日数に注意しましょう。
- ・畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・風向きと風速、散布量等に注意し周辺の作物への飛散防止に努めましょう。

2 今後の水管理

「コシヒカリ」の出穂後は高温で推移しており、白未熟粒の発生や胴割米の発生が懸念されます。

出穂後20日間の湛水管理及び刈取り5~7日前までの間断かん水を徹底し稲体の活力維持に努めましょう。



【水管理のイメージ】

生育期	出穂期	出穂20日後	収穫5~7日前
水管理	湛水管理	間断かん水	
水量	[湛水管理のイメージ]		(落水)

- ・フェーンが予想される場合は、事前に入水しましょう。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましょう。